

ごあいさつ

理事長 丹下正彦

先日、当協会発足後初めての通常総会を開催し無事終えることができました。協会が発足してほぼ半年が経過しましたが、お蔭様で当協会の趣旨に賛同され、現在、正会員72、準会員17に至る多数の方々のご参加を頂いております。今後、理事と事務局一丸となって更なる会員の増強を目指してまいります。既会員の皆様方にも会員増強にご尽力いただけますようお願い申し上げます。

ところで交通信号工事は世間の耳目を集めるような華々しさはありませんが、世界で最先端をゆく日本のITS分野の要である交通管制システムを根底から支える極めて重要な役割を担っており、しっかりと技術力に裏打ちされた施工管理が要求されます。

このため当協会の役割は重要で、また大きく期待もされております。

会員の皆様方に役立つ成果を挙げるべく、最善の努力をいたしますので、引き続き会員の皆様方のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。



(元警察庁情報通信局長)

活動報告 1

多数の会員の参加を得て平成22年度通常総会開催

○平成22年5月17日(月)東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷において、平成22年度通常総会と懇親会が開催されました。また総会に先立ち、別項に記載する講習会も開催され、会員等約100名の方々の参加をえて、盛況に執り行われました。

通常総会は丹下正彦理事長の挨拶の後、平成21年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告が承認されました。

また、新たに理事として、上高家耕一氏と大西邦法氏の就任が満場一致で承認されました。



○通常総会終了後、多数の会員の方と講習会の講師を交えて懇親会が開催されました。

理事長から厳しい経済情勢の下では、人と交わり人を知る、情報を交換し必要な情報を手に入れることが生き残るためには必須の要件で、その意味で懇親会開催の意義も、当協会の存在意義も有る旨の挨拶があり、和やかな雰囲気の中で、会員相互の懇親が深められました。



最後に平成22年度事業計画及び収支予算について事務局から報告があり、無事通常総会が終了しました。

通常総会で配布された資料と総会の模様は、ホームページの「会員専用ページ」でご覧いただけます。



平成22年度第1回講習会を開催

通常総会に先立ち講習会が開催され、4名の講師の方々から貴重なお話を伺って、多くの参加者の方々から非常に参考になったと感謝され、今後もこのような講習会の実施を切望される意見が多数寄せられました。なお講習会後に実施したアンケートの概要を紹介します。

■工事技術者のための交通信号機の基礎知識

講師 北浦 裕史 氏 小糸工業(株)営業部 主管

- ・基礎的内容からよく整理されていたので、体系的に知識の整理ができてよかった。
- ・今後信号機器メーカーからさらに多くの関連機器の詳細やトラブル対応等を聞きたい。



■交通信号工事の留意点

講師 横井 昭 氏 (財)日本交通管理技術協会 参事
前警視庁交通部交通管制課 管理官

- ・発注者側からの事故苦情対応や報告の重要性がよく理解できた。
- ・普段聞けないしまた聞きにくいことなので、今後も続けてほしい。



■高所安全作業

講師 久保田 稔 氏 前東京都電気工事工業組合連合会 部長

- ・専門的で、しかも実務経験者の体験に基づいており、大変面白く、また重要性を再認識させられる素晴らしい講義であった。
- ・知ってるつもりが、知らないことが多く、反省することが多かったので継続されたい。



■信号工事業務遂行上の問題

講師 松原 一朗 氏 北明電気工業(株)代表取締役社長
当協会理事

- ・人材不足、従業員育成の問題点と対応策は参考になった。
- ・このような観点から当協会の設立趣旨が説明されよく理解できた。

ホームページの「会員専用ページ」で各講師の講演内容を動画でご覧いただくことができ、また、配布された資料をダウンロードいただけますので、社員の皆さんにもご活用をお勧めください。

新任理事のご紹介

■5月17日開催の通常総会で、上高家耕一氏と大西邦法氏の2名が新たに理事として承認され、即日、お二人には理事(非常勤)就任を承諾していただきました。上高家氏には、当協会設立時から今日まで事務局長としてご尽力をいただいていたまいりましたが、同氏が、6月13日付で(財)全日本交通管理技術協会の専務理事に就任され、やむなく当協会の事務局長を辞退されることになりました。これまでのご尽力に心から感謝申し上げます。

また、大西氏には、(財)日本交通管理技術協会が実施した「信号工事に関するアンケート調査」の集計や分析に大変ご尽力をいただきました。

今後の当協会の活動を展開していくにあたり、お二人にもぜひ当協会の役員としてご参画いただき、引き続きお力添えいただきたく、理事就任をお願いいたします。

■ご挨拶～上高家耕一

「団体を立ち上げたい。」と業界有志の方からご相談があり、皆様のお力になればと思い、設立手続きから事務局運営までお引き受けし、今日に至りました。この度、事務局長を継続できなくなりましたが、理事の一人として、引き続き参画してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



■ご挨拶～大西邦法

アンケート調査の集計や分析をお手伝いしたのを契機に協会役員の方々とお話をしていただくようになり、そして、今回の理事就任を要請されました。役員の中では若輩ではありますが、若さに期待されたと思い頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。



21年度決算報告

【事業の成果】

設立初年度においては、会員拡大活動に取り組んで当協会の基盤を確立すると共に、財団法人 日本交通管理技術協会に設けられた「交通信号施設工事に関する研究会」に参加し、全国の信号工事業者に対する「交通信号施設工事に関するアンケート調査」の実施、及びその解析に協力するなどして、交通信号工事に関する諸問題の把握・集約に取り組み、平成22年度からの本格的な事業実施に備えることができた。

【各事業の実施結果】

■交通信号施設工事技術の総合的研究

財団法人日本交通管理技術協会の「交通信号施設工事に関する研究会」に参加し、全国の工事業者に対する「交通信号施設工事に関するアンケート調査」の実施、及びその解析に協力した。

■交通信号施設工事の改善・向上に関する調査研究

交通信号工事施工ハンドブック編纂の基礎資料として、各都道府県警察の交通信号工事標準（共通）仕様書の入手に着手した。

■その他当法人の目的達成に必要な事業

広報活動及び会員に対する情報提供サービスを目的に当法人のホームページを開設・運営し、入手した各県の工事仕様書をホームページの会員専用ページを通じて閲覧できるようにした。

【平成21年度収支決算】

単位：円

(収入)	
1. 入会金	7,390,000
2. 年会費	1,620,000
3. 事業収入	0
4. 雑収入	519
収入合計	9,010,519
(支出)	
1. 事業費	322,350
2. 管理費	1,864,104
3. その他支出	416,750
4. 法人税等	29,100
支出合計	2,632,304
当期収支差額	6,378,215
前期繰越収支差額	0
次期繰越収支差額	6,378,215

22年度事業計画

【事業実施方針】

事業実施の方針設立2年度目は、引き続き当協会の基盤を固めるために会員拡大活動等に取り組むと共に、当協会による「交通信号施設工事に係る施工技術評価認定制度」の平成23年度創設と当協会会員に対する認定付与を目指した調査研究活動を推進し、併せて財団法人日本交通管理技術協会に委託して「交通信号工事施工ハンドブック」の編纂に取り組む。

【各事業の実施事項】

■交通信号施設工事技術の総合的研究

財団法人日本交通管理技術協会における「交通信号施設工事に関する検討会」の提言を踏まえ、当協会で行き課題について調査研究活動を行う。

■交通信号施設工事の改善・向上に関する調査研究

① 平成23年度に当協会会員に対して当協会による工事技術力評価認定証を付与すべく、評価試験の方法、評価項目、認定証付与手続き等について調査研究を推進する。

② 平成23年度中の完成を目標に、「交通信号工事施工ハンドブック」の編纂を財団法人日本交通管理技術協会に委託して調査研究活動を推進する。

■その他当法人の目的達成に必要な事業

ホームページ等を通じた広報活動、会員に対する情報提供、会員相互の情報交換等の充実を図る。

【平成22年度収支予算】

単位：円

(収入)	
1. 入会金	2,210,000
2. 年会費	5,394,000
3. 事業収入	0
5. 雑収入	5,000
収入合計	7,609,000
(支出)	
1. 事業費	3,080,000
2. 管理費	4,050,000
3. 予備費	400,000
4. 法人税等	70,000
支出合計	7,600,000
当期収支差額	9,000
前期繰越収支差額	6,378,215
次期繰越収支差額	6,387,215

確かな技術と信頼を、後世に引きつぐために



**品質に
こだわり
続けます。**

iwabuchi株式会社
取締役社長 加藤 克明
〒271-0064 千葉県松戸市上本郷167
TEL.047-368-2221
<http://www.iwabuchi.co.jp>

本広告枠に掲載を希望される方は、事務局にお問い合わせください。

お知らせ

事務局長交代のお知らせ

■当協会の設立準備段階から設立に至り、さらに今日まで事務局長として事務局業務を統括され、当協会の礎を築き、要として活躍されてきました上高家氏が、6月13日付で(財)全日本交通管理技術協会の専務理事に就任され、やむなく当協会の事務局長を辞退されることになりました。これまでのご尽力に心から感謝申し上げます。

このため丹下正彦が理事長兼事務局長として勤務させて頂くことになりましたが、引き続き各理事、事務局員、そして全国の会員の皆様方のご支援、ご協力を賜りながら当協会の発展に努めてまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

プロジェクトチームへの参加希望者募集

■通常総会で報告いたしました平成22年度事業計画を具体的に遂行するために、①平成23年度に実施を計画している工事技術力評価認定制度と

②(財)日本交通管理技術協会に委託研究して編纂する交通信号工事施工ハンドブックに関して、当協会内にプロジェクトチームを設けて鋭意作業を進めることとし、方針、メンバー構成などの具体的内容を近く開催する理事会で決定することしております。会員の皆様方にはこの件に関してご意見、ご要望などありましたら事務局までお知らせください。またこのプロジェクトに参加希望の方は6/21~7/9の間で公募いたしますので、是非ともお申し込みください。

信号工事の実態に関する調査報告書が近くまとまる

■(財)日本交通管理技術協会における「交通信号工事に関する検討会」に当協会は積極的に参画させていただいております。近々報告書が出来上がる予定のようですが、当協会の事業活動に参考になることが多く、協会活動に活用させていただくとともに、この成果を皆様方にもお伝えしたいと思います。

お問合せ先

〒108-0073 東京都港区三田2丁目14番5号 フロイントウ三田910号室
NPO法人POLICEチャンネル内
一般社団法人全国交通信号工事技術普及協会事務局
TEL:03-6436-2671 FAX:03-6436-2672
URL:<http://www.tscta.jp> E-mail:info@tscta.jp